

教えて！先生！

秋元 岩手のご出身と聞いてますが、青森はどうですか？

今年が雪がすごかったですが、除雪がうまいし、過ごしやすいですよ。

白戸 では、青森で好きなところは？

温泉！県内を周っていますが、八甲田山あたりはいいですね！雲谷そばもおいしいです。

篠原 本学に異動したきっかけは？

栄養学科が開設するというお話を伺って。そういえばみんなと同入学ですね(笑)。

菊池 わたしたちの印象は？

いつも明るいし、授業も熱心。お世辞じゃなくて(笑)。

菊池 授業を進めるのに心がけていることは？

「栄養」への興味を引き出せるよう、わかりやすく説明してあげたいし、楽しく覚えてほしいですね。

秋元 応用栄養学の楽しさといえば？

人間が生まれてから成長するまで、栄養を通して健康に育つという課程を学んでいくことでしょうか。

篠原 スポーツ栄養士のやりがいとは？

スポーツ選手自身が食事の大切さを感じ食生活が変化していくことです。

白戸 最後に、私たちに期待するところを教えてください。

研究の過程も大切にしながら卒業研究に取り組み、管理栄養士という目標に向かって頑張ってくださいね！協力したいので何でも相談してくださいね。



栄養学科3年
菊池彩加さん
(きくちあやか)



栄養学科3年
篠原春佳さん
(しのはらるか)



栄養学科3年
白戸里佳さん
(しろとりか)



栄養学科3年
秋元和恵さん
(あきもとかずえ)



栄養学科准教授

吉岡美子(よしおかよしこ)

管理栄養士 公認スポーツ栄養士
スポーツ栄養に関する研究、地域性のある食品利用に関する研究(地元食材の機能性・食味特性を生かす料理情報提供システムの構築)、幼児期における食育に関する研究、診療所電子カルテと連携した栄養指導支援システムに関する研究を担当。



吉岡先生とゼミ生たち

栄養学科初 学生主導国家試験対策プロジェクト 「学生中心の国家試験対策の取り組みについて」

国家試験対策

2010年4月、今春の卒業生が3年生に進学した頃、国家試験対策プロジェクトチームを発足。

国家試験対策学生委員は伝達事項に漏れないよう、10研究室から各1名、計10名で編成されています。当初から模試業者とのやりとりを行い、現況の国家試験の傾向や内容、他大学の動向などを調査しました。学生中心の国家試験対策をコンセプトに、どの業者の模試を何回受け、どんな勉強方法でなど、私ども教員と学生により打合せを進め、学生主導で決定してきました。

2011年8月には初めて模試を受験、年度計5回行い、おかげさまで本番を迎えることができました。これからも多くの管理栄養士が生まれるよう、私ども教員も学生からの要望にはできる限り協力し、今後の取り組みに望んでいきたいと思っております。

【勉強方法】

国家試験対策プロジェクト学生がモデルスケジュールを策定し、そのスケジュールに基づいてみんなが勉強する。

【模試の運営】

手続き等はすべて国家試験対策プロジェクト学生が行う(教室の確保などは教員協力)。試験監督は3年生が行い、状況を体験することで、自らに活かす。基本は集団受験(個人でその他の模試を受験する際は個別受験)。

【模試結果のフィードバック】

模試結果は国家試験対策プロジェクト教員から返却するとともに、学科教員全員で情報共有し、皆が合格できるようサポートを行う。

栄養学科 講師 井澤弘美 (いざわひろみ)

